

一昨年、西条市では「人権問題に関する市民意識調査」を行い、その結果を、差別をなくする市民の集いや人権・同和教育研究大会などで報告してきました。

調査項目の一つに「同和問題は、今後どうすれば解決できると思いますか」という問いがあります。一番多かった回答は、そっとしておくのがよいで、29・0%でした。次が、人権に関する教育、啓発、広報活動を進めるで、21・6%でした。毎年実施している地区別の懇談会でも、「寝た子を起ささないほうがよい」という意見があります。このことは、どういうことを意味するのか。そっとしておくのが本当は解決できるのか。次の4つの視点から考えてみたいと思います。

①同和問題（部落差別）をまったく知らないという状態が、永久に続くとは考えられないことです。例えば、就職や結婚など何らかの関係が生じたときに知ったり、寝たふりをしているわけではなく、寝たふりをしている中、そっとしておくという

ことは、差別の放置であり、人権を侵害されている人に、「がまんしなさい」ということと同じであるということだと思います。自分の人権が侵害されれば、誰だつてがまんできないと思います。

③歴史的事実がすべてを物語っているということ。明治4年の太政官布告（身分解放令）により、被差別身分はなくなりましたが、差別はなくなりませんでした。大正11年、差別撤廃をめざして全国水平社が創立されました。この間、50年余り「そっとしておいた」のに、差別はなくなるどころか、ますます厳しくなつたため、自ら立ち上がったのが水平社運動でした。

④昭和40年の「同和对策審議会答申」で明らかにされているということ。部落差別は、永久に未解決なものではなく、必ず解決できるが、自然になくなるものではないとしています。このようにさまざま視点から同和問題の解決を考える時、「そっとしておく」「寝た子を起さすな」という考え方の誤りが見えてくると思います。

## ありがとうございました

次の方々からご厚志をいただきました。心からお礼申し上げます。

(順不同 敬称略)

### ■まごころ銀行へ

▽砂田寿江（三津屋南）▽竹田道彦（高田）  
▽鈴木正行（桑村）▽佐伯秀俊（丹原町願連寺）▽葵歌謡愛好会チャリティー募金▽そがめ歌謡教室▽かれん美容室▽多賀小学校▽徳田小学校PTA▽中川地区婦人会▽寺田歌謡教室・知里歌謡教室

### ■養護老人ホーム明水荘へ

▽生け花指導 稲住育子（下島山甲）▽新聞芥川秀人（神拝甲）▽押し花指導 佐藤ミヨ（大町）

### ■養護老人ホーム石燧園へ

▽縫物奉仕 周桑天理教婦人部

### ■特別養護老人ホーム道前荘へ

▽歌 玉井キヨ子（小松町大頭）▽カレンダー作り・喫茶 コープえひめ福祉グループ▽三味線・歌・踊り 桑村社中

## 書籍が寄贈されました

3月10日に、石鈍みすゞコスモスから市内の小・中学校へ書籍「金子みすゞ物語」が贈呈されました。

金子みすゞの詩からやさしいところを学んだ会員のボランティア活動により、今回の寄贈となりました。

各校の読書活動に有効に活用させていただきます。



## 4～6月 不正大麻・けし撲滅運動月間

けしには植えて良いけし（ひなげし、おにげし等）と植えてはいけないけしがあります。植えてはいけないけしは麻薬の原料となるため、法律で栽培が厳しく規制されています。

愛媛県では、けしの花が咲く4月から6月を「不正大麻・けし撲滅運動月間」として、正しい知識の普及啓発や不正栽培の発見除去などの活動をしています。

### 植えてはいけないけしの特徴

- 成長した草丈は1m以上になり、茎は太くがっちりしている。
- 茎や葉の表面にはほとんど毛がない。
- 茎や葉は「ろう」がかかったような白っぽい緑色。
- 葉の付け根が太い茎を半分抱くような形でついている。

不正栽培または自生している大麻や植えてはいけないけしを見つけた場合は西条保健所（TEL0897-56-1300）にご相談ください。